

# こうざえもんつうしん 講左衛門通信

平成 27 年 11 月 8 日

第 5 6 号

発行 天台宗忍草山東円寺

〒401-0511

南都留郡忍野村忍草38

☎ 0555-84-4114

『今日は、東円寺で毎年 11 月 3 日に行われているお会式（両大師会）の話であったな。さて、クニマッスンは、両大師とは、誰のことをいっておるか分かるかのう・・・』

『両大師とは、中国のお釈迦様といわれ

た、天台智者大師様と、伝教大師最澄様のことでまっすん。天台宗では、天台大師を高祖、伝教大師を宗祖と呼び尊崇しているでまっすん。簡単に説明すると、天台大師様は、天台宗の教えの根本を作られた人で、伝教大

師様はその教えを基に、日本天台宗を開いた人でまっすん。』

『クニマッスンは、よく勉強しておるな。天台宗の正式な行事の呼び方は、お会式とは言わないんじゃ。しかし、東円寺では、

江戸時代から、そのように言われておるんじゃ。江戸時代の末期、文化や天保年間の寄付台帳が残っておるんじゃが、その表紙にお会式と書かれているんじゃよ。寄付台帳から想像すると、東円寺の行事の中でとても重要な行事であったということがうかがえるんじゃ。戦前は、天台大師様が入滅された 11 月 24 日の前日 23 日にしていたんじゃが、その頃忍野村は一番気温が下がってくるころなので、現在の 3 日に改めたんじゃ。時代とともに、行事のあり方も変化してきたが、行事そのものが継承されてきたことは尊いことだと思うんじゃ。』

『講左衛門さんが言うように、何事も継続することは、難しいことでまっすん。現在、お会式の供養の証として、牛玉（ごおう）のお札を配布しているでまっすん。牛王のお札の説明と、このお札を配ることになった経緯を知りたいでまっすん。』

『東円寺で配布している牛玉札は、富士山の牛玉なんじゃ。はっきりとした年代は不明なんだが、富士講が盛んな時に作られた版本なんじゃよ。かなり大きな版本でな、登山の装束である行衣の背に摺られたんじゃ。これを縮小して復刻したのが、現在お会式で配られているお札なんじゃよ。牛玉については、宗教的な意味があるので、次回しっかり説明することにしようかのう・・・さて、両大師が何よりも大切にしている教えは、「すべての人が仏に成れる」と説く法華經に基づいているんじゃ。天台宗の教えは、日本仏教に大きな影響を与え、多くの僧が育ち、その僧たちが、新しい宗派を開いたんじゃ。浄土宗の開祖法然上人、臨済宗の開祖栄西禅師、浄土真宗の開祖親鸞聖人、日本曹洞宗の開祖道元禅師、日蓮宗の開祖日蓮上人、時宗の開祖一遍聖人などが、比叡山で学んだんじゃよ。歴史の教科書に出てくるお坊さん達じゃな。』

『確かに、聞いたことのあるお坊さんばかりでまっすん。比叡山を上がって行くと、このお坊様達が修行した場所に、修行の場という看板を目にするでまっすん。古い歴史が刻まれた尊い法要だと言うことがよく分かったでまっすん。今回は、牛玉の話でまっすん。描かれている絵が時代によって異なると聞くので、とても楽しみでまっすん。』



クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

□癖 でまっすん・・・



ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳

職業 大我講の先達

(先達とは案内責任者)